

2018年度第1回 VLBI 懇談会役員会 議事録

日時 : 2018年5月25日(金) 13:00-16:00

場所 : 国立天文台三鷹 大会議室

出席者 : 川口、小川、土居、藤沢、中川、栗原、秦、青山、齋藤、久野、河野、米倉、木村、
(Skype) 関戸、今井、岳藤
(オブザーバー) 岡田

欠席者 : 高羽、本間

資料 : 2018年度第一回 VLBI 懇談会役員会

議題

1. はじめに(会長挨拶)

国立天文台研究会集會開催補助申請の件の為、今年の第一回役員会の開催時期を早めた。

2. 各機関報告

i. 国立天文台

組織変更に伴い、台長が常田佐久台長に。小林元副台長が水沢 VLBI 観測所に復帰。

VLBI 科学諮問委員会が発足予定

Q. VLBI 科学諮問委員会は何時発足する予定か？

A. いつ頃などの予定やチャージ等なにも決まっていない。

科学戦略会議の直下に VLBI 諮問委員会を発足。

SKA 推進室サブプロジェクト申請が棄却。

ii. NICT

Q. イタリアとの周波数比較の時、大気の影響は？

A. 精度良く計測するので、複数回、長時間でクロックの測定精度を向上させる。

Q. ソースは？

A. 群遅延量で評価している。

iii. 国土地理院

Facebook のシェアよろしく

Q. 海外の VGOS で GGAO とは？

A. アメリカのゴダード？

Q. 中国は完成したの？

A. 観測まではできていない

iv. JAXA/ISAS

JAXA 新理事が山川宏、ISAS 新所長が國中均に。

新メンバー：中原、下向

Q. フライトが正式に採用されたらお金の補助は？

A. ない。ただし、気球やガス、施設のサポートを受けられる

Q. GREAT は 2019 年度完成を目指すのは予定どおりか？

A. 予定通り。だと思う。

v. 茨城大学

所属：茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター

大学直属の宇宙科学教育研究センターから理学部附属に。

米倉がパーマネント、教授に。

研究員は欠員 1 名。

Q. 日立高萩のフェイズアップして、山口と観測可能か？

A. 今の方法だとできない。フェイズアップして記録してからだと可能。

vi. 岐阜大学

小川事務局長が代読

質問があれば、高羽さんに個別に

vii. 山口大学

山口干渉計(第一+第二)で基本性能試験中。

電源工事を今年中に行い、第二望遠鏡の冷却化を行う。

viii. 筑波大学

中井さんが関西学院大学に。クロスアポで 7/1 より筑波大学にも所属。

南極望遠鏡計画は概算要求中。

Q. 南極のクラウドファンディングはあったが、カメラも？

A. 同じもの。カメラを開発して南極にむかう。

Q. フェイズリトリバルホログラフィーとホログラフィーの違いは？

A. 位相基準がいない。

Q. 点回折干渉とは？

A. ピンホールによるきれいな球面波を用いて干渉させて行う。

ix. 鹿児島大学

GaiaDR2の結果とVLBIによる年周視差の結果で大きな違いが生じている星がある。

天の川銀河研究理工学センターが発足。理学、工学、医学で構成。

Q. VLBIとガイアで違うのはゆゆしきことだが、どれぐらい？

A. 20ぐらい。誤差の範囲で一致することは、少ない。システムチックな違いを考えないといけない。

Q. 割合は？

A. 一致するものは半分もない。

Q. 天の川センターは、教員すべてが所属になったのか？

A. 併任で対応。

x. 大阪府大

Q. クワッドリッジアンテナの帯域は

A. 20-50GHz です

Q. 大きいほうがいいのでは。

A. 1.8mのほうが、改良が容易なため。

xi. 極地研

総研大服部さんが学生で所属。

昭和基地は11mの望遠鏡を利用。

レドーム老朽化につき、アンテナ等全体の解体作業が危険->延期。

3. 2018年度 活動報告

4. 2018年度 VLBI 懇談会シンポジウムについて

[タイトル]

[場所]熊本大学 役員会で承認

SKAを将来計画の一つとして推進する為、熊本大学での開催を提案。

[日程]三つの案を提案。

開催日程は熊本大学の部屋の予約の関係上、土日を検討。

また費用が掛かる部屋も費用次第でOKとする。

様々な研究会が参加しており、その時期をずらす場合の開催日案および優先順位は

①11/30PM-学生、12/1PM-3AM

②12/22PM-学生、23PM-25AM

③12/7PM-学生、8PM-10AM

[世話人]

SOC : 赤堀、今井、廣田 or 秦、栗原(SKA に明るく、VLBI に興味も深い方)

LOC: 高橋、米倉、藤沢(会場は高橋さん)

5. 国立天文台研究会開催補助の申請

上記補助の申請を川口と事務局で行う(役員会で承認)。締め切りは 6/29。

下記、最大学生数と所属機関から必要旅費を概算。

水沢 : 3 名

茨城大 : 4 名

天文台 : 3-4 名

筑波大 : 1 名

宇宙研 : 2 名

大阪府大 : 2 名

岐阜大 : 3 名

山口大 : 8 名

鹿児島 : 7 名

6. 会費長期滞納者について

五年以上会費を滞納している方に対し、退会 or 継続の意思確認を行う。

関戸 滞納の方に連絡したら、納金して退会される方が多かった。

米倉 督促すれば、大部分は納金して退会。

役員の方に確認していただく場合も、事務局より滞納額についてのメールを送る。

年一回個別に滞納額をメール。

7. その他

ア) 「SKA 時代の VLBI サイエンス」 検討会 by 米倉

今後 VLBI の将来計画に関わる検討会である為、VLBI 懇談会が主催で行うことを承認するか否か。

藤澤 : とても良い考えだと思う。

今井 : SKA1 で VLBI のフェイズアップするためのビームフォーミングまで検討している。

川口 : 7 月中旬で今から Call for proposal を行って間に合うのか ?

米倉 : 招待講演のみにするか、招待講演+若干の一般講演のどちらかすることで対応できる。

中川 : 測地や地球物理系にブレイクスルーになるのか否か。天文学だけで話題になっているのか。VLBI だけで閉じるのか。

米倉 : 世話人で測地関係者などを交えるかを相談する。

土居：SKA 推進室を立ち上げようとしているが、装置等が現在検討しているもので可能なサイエンスを
考えるべきなのか？

米倉：目安は出すが、こんな装置を作ったらこんなことができるという提案も受け入れる。現実から乖離
していたら厳しいが、現実だけでなく夢も考えられるようにしたい。

反対意見なし。VLBI 懇談会主催で行うことを承認する。

この候補日に何かある場合、6/4(月)までに米倉まで連絡すれば可能な限り考慮する。

(6/4 に世話人で次の検討会を行う。)

岳藤：VSOP の後継機についても検討できないか？

米倉：要検討。テーマが多すぎて発散するのは避けたい。検討会世話人で検討。また次回以降も検討会を
行うので次回以降でもいいのでは。

また、本検討会に関して、V 懇シンポで報告する。

イ)45 m 鏡を用いたサブミリ波 VLBI に関する検討会 by 藤沢

- ・ EAVN に野辺山の参加が確定。
- ・ HINOROTI による 3 周波同時観測。
- ・ 新沼さんによるバックエンド拡充。

というのがバラバラにあるので検討会で共有する意味もあり検討会を開きたい(井上、小川に相談中)。

ウ)アンリツ表彰について

アンリツの水素メーザーの製造販売中止に伴い、これまでの功績を賞して VLBI 懇談会より表彰状を贈
呈。今後、保守は引き続き、社内カンパニーを立ち上げて行う予定である。